主な仕様

受信周波数：

FM	76.0～108.0 MHz (TV1～3ch※)
AM	525～1629 kHz

トラック方式　：ステレオ
モニター方式　：バリアブル
録音方式　：ACバイアス
消去方式　：マグネット消去
周波数範囲（ノーマルポジション）
　録音/再生　：70－8000 Hz
　再生　：40－16000 Hz (JEITA)
入力端子
　マイク　：0.6 mV　200－600 Ω（ステレオM3ジャック、プラグインパワータイプ）
出力端子
　ヘッドホン　：50 Ω（ステレオM3ジャック）
　スピーカー　：4.5 cm　丸形　4 Ω×2
　　1.1 cm　丸形　800 Ω×1
実用最大出力
　ヘッドホン　：3 mW+3 mW (JEITA)
　スピーカー　：490 mW+490 mW+20 mW (JEITA)
電源
　乾電池　：DC 3 V（単3形乾電池×2本）
　外部電源　：DC 3 V
　　（別売りACアダプターRP-AC31B使用）
寸法
　最大外形寸法　：123.0 (W)×90.7 (H)×43.4 (D) mm (JEITA)
　本体寸法　：113.0 (W)×86.6 (H)×42.0 (D) mm
質量　：約260 g（乾電池含む）
　約225 g（乾電池含まず）

電池持続時間(JEITA)

使用条件 ＼ 使用乾電池		ナショナルネオ(黒)乾電池（R6PU）	パナソニックアルカリ乾電池（LR6）
録音		約6時間30分	約20時間
テープ再生	インサイドホン（ヘッドホン）使用	約7時間30分	約24時間
テープ再生	スピーカー使用	約3時間12分	約14時間
ラジオ受信	インサイドホン（ヘッドホン）使用	約25時間	約57時間
ラジオ受信	スピーカー使用	約7時間	約21時間

電池持続時間は使用条件によって短くなる場合があります。
この仕様は、性能向上のため変更することがあります。
※本機で受信できるのはTV音声のみ（1～3 ch）です。

停止時の消費電力：約1.3 W (ACのとき)

お手入れ

本体が汚れたら

柔らかい布で拭いてください。ひどい汚れは、薄めた台所用洗剤（中性）を含ませた布で拭き、後はからぶきしてください。
- アルコールやシンナーは使わないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書に従ってください。

テープの音をよい音で楽しむために

定期的にクリーニングテープを使って、清掃されることをおすすめします。

別売り品のご紹介
■インサイドホンで聞く
ステレオインサイドホン RP-HV237、RP-HV313、RP-HV337
■外部マイクで録音する
ステレオマイクロホン　RP-VC200
別売り品の品番は、2003年3月現在のものです。

Panasonic®

ステレオラジオカセットレコーダー
Stereo Radio Cassette Recorder
取扱説明書
Operating Instructions

品番　RQ-A320

お買い上げいただき、まことにありがとうございました。

■取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。そのあと保存し、必要なときにお読みください。

上手に使って上手に節電

この取扱説明書の印刷には、植物性大豆油インキを使用しています。

便利メモ（おぼえのため、記入されると便利です。）

お買い上げ日	年　月　日	品番	RQ-A320
販売店名	☎（　）－		

松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号
Matsushita Electric Industrial Co., Ltd. Network Business Group
1-4 Matsuo-cho, Kadoma City, Osaka, Japan 571-8505

RQTT0537-S　F0303TH0

Panasonic　持込修理

パナソニック音響製品保証書

本書はお買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合には本書裏面記載内容で無料修理を行なうことをお約束するものです。詳細は裏面をご参照ください。

品番	RQ-A320
保証期間	お買い上げ日から 本体1年間
※お買い上げ日	年　月　日
※お客様	ご住所 お名前　様 電話（　）－
※販売店	住所・氏名 電話（　）－

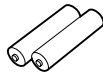
松下電器産業株式会社
ネットワーク事業グループ
〒571-8505　大阪府門真市松生町1番4号　TEL (06) 6909-1021

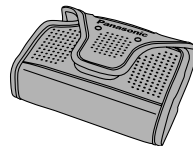
ご販売店さまへ　※印欄は必ず記入してお渡しください。

付属品の確認

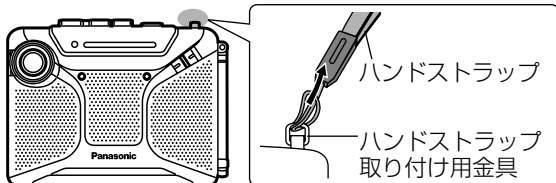
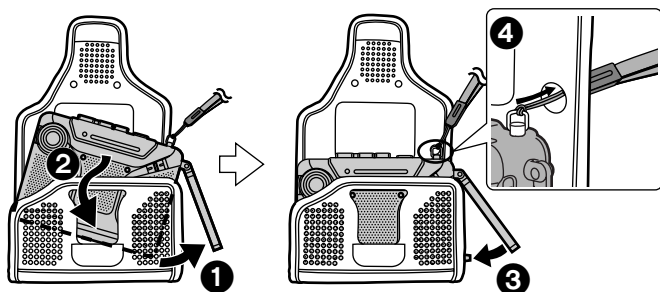
□ステレオインサイドホン (RFEV324P-KS)

□ステレオマイク (RFEM302P)

□単３形乾電池　２本

□ハンドストラップ (RKHT0009-K)

□キャリングケース (RFCT0017-K)

■付属品の買い換えについて
サービスルートでお買い求めいただけます。上記かっこ内の品番で、お買い上げの販売店にご注文ください。

ハンドストラップ（付属）の取り付けかた

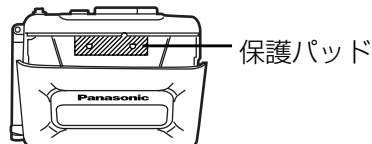
ハンドストラップを取り付けると、持ち運びに便利です。

キャリングケースの使いかた

＜無料修理規定＞

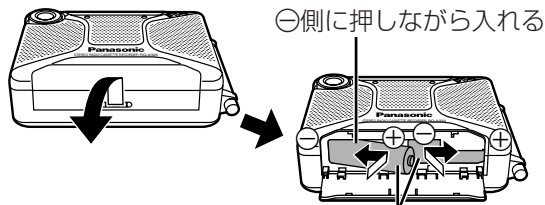
1．取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った使用状態で保証期間内に故障した場合には、無料修理をさせていただきます。
（イ）無料修理をご依頼になる場合には、商品に取扱説明書から切り離した本書を添えていただきお買い上げの販売店にお申しつけください。
（ロ）お買い上げの販売店に無料修理をご依頼にならない場合には、お近くのご相談窓口にご連絡ください。
2．ご転居の場合の修理ご依頼先等は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にご相談ください。
3．ご贈答品等で本保証書に記入の販売店で無料修理をお受けになれない場合には、お近くのご相談窓口へご連絡ください。
4．保証期間内でも次の場合には原則として有料にさせていただきます。
（イ）使用上の誤り及び不当な修理や改造による故障及び損傷
（ロ）お買い上げ後の取付場所の移設、輸送、落下などによる故障及び損傷
（ハ）火災、地震、水害、落雷、その他天災地変及び公害、塩害、ガス害（硫化ガスなど）、異常電圧、指定外の使用電源（電圧、周波数）などによる故障及び損傷
（ニ）車両、船舶等に搭載された場合に生ずる故障及び損傷（ただし、ポータブルCDプレーヤーなどの車載を目的とした機器を車両に搭載された場合は無料）
（ホ）一般家庭用以外（例えば業務用など）に使用された場合の故障及び損傷
（ヘ）本書のご添付がない場合
（ト）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合
（チ）持込修理の対象商品を直接修理窓口へ送付した場合の送料等はお客様の負担となります。また、出張修理等を行った場合には、出張料はお客様の負担となります。
5．本書は日本国内においてのみ有効です。
6．本書は再発行いたしませんので大切に保管してください。
7．お近くのご相談窓口は取扱説明書の保証とアフターサービス欄をご参照ください。

修理メモ

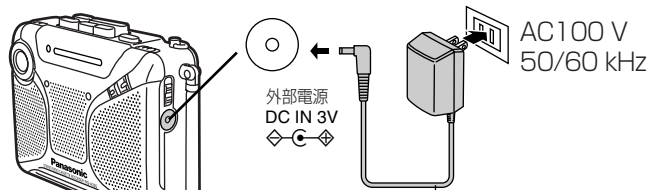
※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって、お客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明の場合は、お買い上げの販売店またはお近くのご相談窓口にお問い合わせください。
※保証期間経過後の修理や補修用性能部品の保有期間については取扱説明書の「保証とアフターサービス」をご覧ください。
※This warranty is valid only in Japan.

ご使用の前に

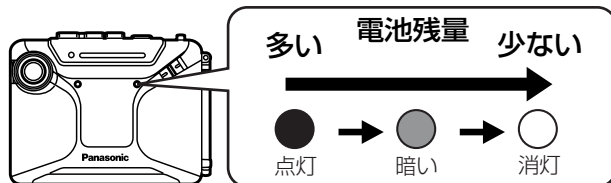
初めてお使いのときは
まずカセットふたを開け、輸送用の保護パッドを外してください。

電源の準備

乾電池（付属）で使う

お知らせ
- 録音の前には、乾電池を２本とも交換することをおすすめします。
- 充電式電池をお使いの時には、Panasonicの充電式電池をおすすめします。尚、使用済みの電池は、貴重な資源を守るために廃棄しないでリサイクル協力店へお持ちください。

ACアダプター（別売り）で使う

必ず専用品（RP-AC31B)をお使いください。

お知らせ
長期間使用しないときは、ACアダプターをコンセントから抜いておくことをおすすめします。本機を使用していなくても、ACアダプターが約1.3 Wの電力を消費しています。

電池残量表示について

本体動作中、点灯します。
電池残量が少なくなると消灯します。乾電池を交換して下さい。

- 操作状況によっては、電池残量ランプがちらついたり、少なめの点灯をしたりすることがあります。

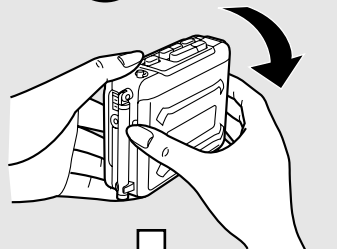
■**乾電池の交換時期**
次のような状態になったら、新しい乾電池と交換してください。
- ランプが暗い
- 再生中に音がひずむ

テープを聞く

■正しく再生できるテープ

ノーマル ポジション NORMAL POSITION/TYPE I	○
ハイ ポジション HIGH POSITION/TYPE II	×
メタル ポジション METAL POSITION/TYPE IV	×

ハイポジション、メタルポジションテープを使うことはできますが、その特性をいかすことはできません。

1 テープを入れる

再生面を手前に
ふたの内側に沿うように

2 [テープ]にする

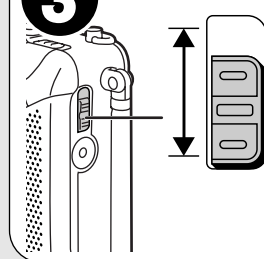
テープ FM AM
切

3 インサイドホン、またはスピーカーを選ぶ

：スピーカーで聞く
：インサイドホンで聞く
：迫力ある重低音で聞く（インサイドホン使用時のみ）
XBS 重低音

◀◀、巻戻し/レビュー
▶▶、早送り/キュー
■、停止

4 [標準]または[3倍]を選ぶ

標準 3倍

録音したときと同じ位置に合わせます。

標準： 通常録音したテープ
3倍 ：3倍録音したテープ

5 [一時停止]を解除する

一時停止

6 [▶、再生]を押す

再生

7 音量を調節する

(大)
音量
(小)

(右)R L(左)
長い方を右耳に

プラグタイプ：
ステレオミニ(M3)

プラグはグッ！と奥まで

Panasonic
STEREO RADIO CASSETTE RECORDER RQ-A300

再生を止める

押す ■ 停止

一時停止する

矢印の方向へずらす
一時停止

長時間走行を停止させるときは必ず[■、停止]を押して電源を切ってください。

再開するには
元の位置に戻す

お願い

- テープ操作中は、カセットふたを開けないでください。
- 早送り、巻戻し中に他のボタンを押すときは、必ず[■、停止]を押してから操作してください。
- 再生中にインサイドホンを接続するときは、音量を下げてください。

早送り・巻戻しする

停止中に押す

◀◀ または ▶▶
巻戻し/レビュー 早送り/キュー

テープ終端まで来たら、必ず[■、停止]を押して電源を切ってください。

聞きたいところを探す（キュー&レビュー）

再生中に押し続ける

◀◀ または ▶▶
巻戻し/レビュー 早送り/キュー

早回しの音を聞きながら、早送り、巻戻しができます。指を離したところから再生します。

■オートストップについて

再生中、または録音中にテープが終端まで来ると、押し込んでいた[▶、再生]や[●、録音]が元に戻り、電源が切れます。

■反対面を聞くとき/反対面に録音するときは

反対面を手前にして、テープを入れ直してください。

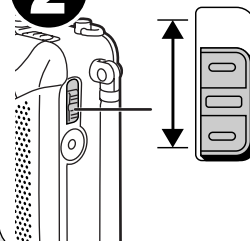
ラジオを聞く

FM 放送はステレオ、AM 放送とテレビ放送（1～3チャンネル、音声のみ）はモノラルです。

1 [FM]または[AM]にする

テレビ放送（1～3チャンネル、音声のみ）を聞くときは、[FM]にします。

テープ FM AM
切

2 インサイドホン、またはスピーカーを選ぶ

：スピーカーで聞く
：インサイドホンで聞く
：迫力ある重低音で聞く（インサイドホン使用時のみ）

XBS 重低音

FMモード/B.P.
ステレオ モノラル
/I /II

3 選局する

選局

同調すると点灯

同調

プラグタイプ：ステレオミニ(M3)

(右)R L(左)

長い方を右耳に

プラグはグッ！と奥まで

4 音量を調節する

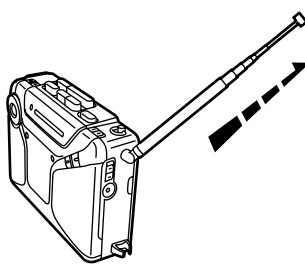
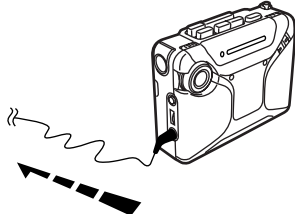
(大)
音量
(小)

■ラジオを止めるには

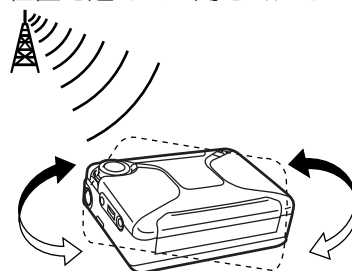
テープ FM AM
切
を[切]にする

よりよい受信のために

■ FM、テレビ放送

ホイップアンテナの長さと向きを調整する。

インサイドホンで聞いているときは、コードがアンテナとして働くので、コードを束ねずに、できるだけ伸ばす。

● FM ステレオ放送で雑音が多いときは
[FM モード/B.P.]を[モノラル/II]にする。音声はモノラルになりますが、雑音が減って聞きやすくなります。
通常は[ステレオ/I]にしておくと、ステレオ音声で楽しめます。

■ AM 放送

内蔵のフェライトアンテナが働きます。
本機を寝かせた状態で、向きを調整します。受信状態が最もよい位置を選んでお聞きください。

（お知らせ）

● 本機の TV 受信回路は、FM 受信回路と兼用しているため、2または3チャンネルに、FM が混信することがあります。
● 乗り物や建物の中では電波が弱まり、聞きにくくなることがあります。できるだけ窓側でお聞きください。

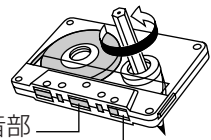
録音する

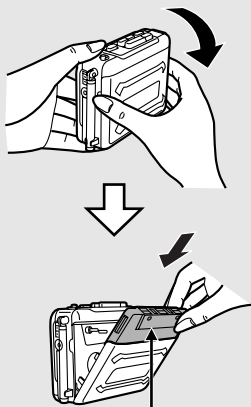
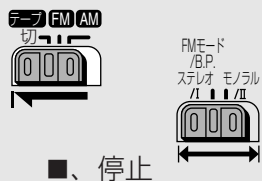
■内蔵マイクで録音する（音声はモノラルになります）

正しく録音できるテープ

NORMAL POSITION/TYPE I（ノーマル ポジション）	○
HIGH POSITION/TYPE II（ハイ ポジション）	×
METAL POSITION/TYPE IV（メタル ポジション）	×

ハイポジション、メタルポジションテープを使うことはできますが、正しく録音・消去はできません。

テープの始めから録音するとき
あらかじめテープ端にあるリーダーテープ部を送り出しておいてください。

テープの途中から録音するとき
あらかじめ、録音を始める位置を頭出ししておく。

❶ テープを入れる

❷ [テープ]にする

❸ [標準]または[3倍]を選ぶ

標準（4.8 cm/s）：通常の録音
3倍 （1.6 cm/s）：録音時間を3倍にして録音するとき。（60分テープで両面180分の録音ができます）長時間の会議などに便利です。

（お知らせ）
- よりよい音で録音したいときは[**標準**]をおすすめします。
- [3倍]で録音したテープは、同じ機能の付いたテープレコーダーで再生してください。

録音面を手前にふたの内側に沿うように

内蔵マイク
ステレオマイク（プラグインパワー）
プラグタイプ：ステレオミニ（M3）
🎧 プラグタイプ：ステレオミニ（M3）

❹ [一時停止]を解除する

❺ [●、録音]を押す

内蔵マイクから録音します。
[▶、**再生**]も同時に押し込まれます。

（お知らせ）
- インサイドホンを接続して[🔈、🎧、🎧XBS重低音]を[🎧]にすると、録音中の音を聞くことができます。
  その場合、インサイドホンの音は[**音量**]で調節できます。（録音時に音量を調整しても、録音レベルに影響はありません）
- 録音時にハウリング（ピーという音）が起きた場合はインサイドホンを内蔵マイクから離すか、音量を下げてください。

録音を止める → 押す ■

一時停止する → 矢印の方向へずらす（一時停止）
長時間走行を停止させるときは必ず[■、**停止**]を押して電源を切ってください。
再開するには
元の位置に戻す

録音した音をすぐに聞く（クイックレビュー） → **録音中に押し続ける**

[●、録音]だけが元に戻り、テープが巻戻されます。指を離すと今録音した内容を聞くことができます。

録音したものを一部修正する（後追い録音） → **再生中に押す**

その位置から録音できます。

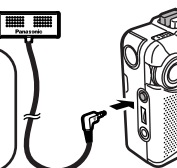
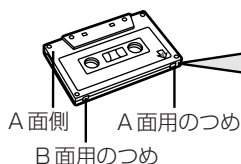
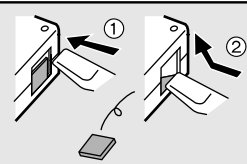
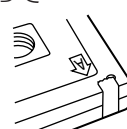
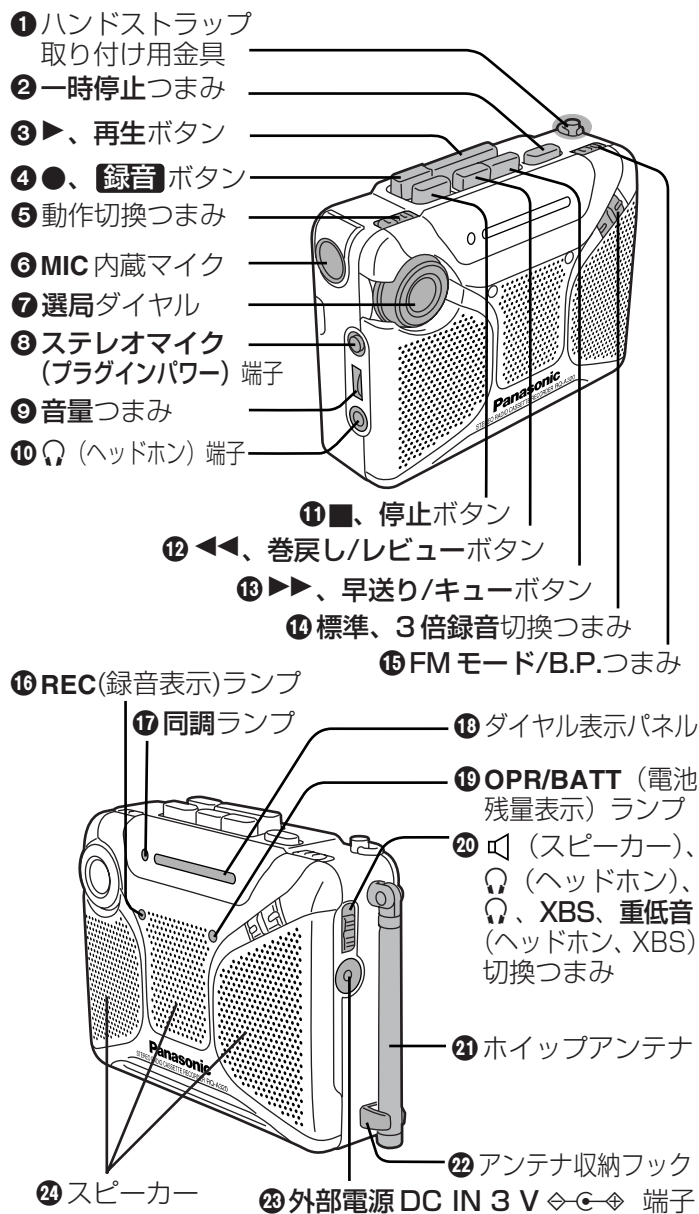
■ラジオ放送を録音する

上記手順❷で[FM]か[AM]を選ぶ。

- **AM録音時の雑音（ピーという音）が多いときは**
  雑音が少なくなる位置（[**ステレオ/I**]または[**モノラル/II**]）に切り換えてください。

■外部ステレオマイク（付属）で録音する

[**ステレオマイク（プラグインパワー）**]に接続し、上記手順❶から❺を行う。（マイクを接続すると、内蔵マイクは自動的に切れます）

クリップを襟元などにとめておくと便利です。

■録音したテープを誤って消さないために

もう一度録音するには
セロハンテープ等を貼ってください。

各部のなまえ

故障かな！？

まず、下記の点をご確認ください。
直らないときは、お買い上げの販売店へご相談ください。

症状	確認
動かない。	●乾電池が消耗していませんか？ ●乾電池の⊕、⊖を逆に入れていませんか？ ●電源を乾電池に切り換えるとき、ACアダプターのプラグを本体からはずしていますか？ ●一時停止になっていませんか？
[●、録音] ボタンが押せない。	カセットテープのつめが折れていませんか？（8ページ）
インサイドホン使用時、音が聞こえない。ジャリッ！と音がする。	●プラグは奥まで入っていますか？ ●プラグは汚れていませんか？（プラグをきれいに拭ってください。）
再生速度が遅い・速い。	[標準、3倍]は録音時と同じ位置になっていますか？
雑音が聞こえる。	携帯電話と本機を近づけてお使いのときは、携帯電話から本機を離してください。

Operating Instructions

Power Sources (Refer to the illustrations on page 3.)

Dry cell batteries
Use the two R6/LR6(UM-3) batteries.
The **[OPR/BATT]** indicator fades and goes out as the battery runs out. Replace when the battery runs down.

AC adaptor
Connect the Panasonic AC adaptor(RP-AC31B, not included) to [外部電源, DC IN 3V, ⊖-◐-⊕].

Tape playback (Refer to the illustrations on pages 4 to 5.)

❶.Insert the tape. (You can use normal position type tapes only.)
❷.Set [テープ, 切, FM, AM] to [テープ, 切].
❸.Select [🔈], [🎧] or [🎧, XBS, 重低音].
 🔈: To listen with speakers
 🎧: To listen with earphones
 🎧, XBS, 重低音: To listen with emphasized bass
❹.Set to [標準] or [3倍].
 Use the same setting you used when the recording was made.
❺.Set [一時停止] to Off position.
❻.Press [▶, 再生] to start playback.
❼.Adjust the volume with [音量].

Listening to the radio (Refer to the illustrations on pages 6 to 7.)

❶.Set to [FM] or [AM] to select the band.
❷.Select [🔈], [🎧] or [🎧, XBS, 重低音].
❸.Dial [選局] to tune a station.
❹.Adjust volume with [音量].

To stop radio
Set [テープ, 切, FM, AM] to [テープ, 切].

Adjusting the antennas
AM: The AM antenna is built-in so, try various directions for optimum reception.
FM: As the cord of the earphones acts as an antenna, use it extended, not coiled, or pull out the telescopic antenna and adjust its length and angle for optimum reception.

To receive FM stereo broadcast clearly
To receive FM stereo broadcasts, set [FM モード/B.P.] to [ステレオ/I].
If reception is poor(excessive noise), set to [モノラル/II]. This will reduce noise but sound becomes monaural.

To make recordings (Refer to the illustrations on pages 8 to 9.)

❶.Insert the tape. (You can use normal position type tapes only.)
❷.Set [テープ, 切, FM, AM] to [テープ, 切].
❸.Set to [標準] or [3倍].
 標準 : To record sound at a normal speed
 3倍 : To record about three times the length of the tape
❹.Set [一時停止] to Off position.
❺.Press [●, 録音].
 [▶, 再生] is also pressed with [●, 録音].

To record the radio
In step ❷, set to [FM] or [AM].
●If there is too much interference during AM recording set **[FM モード/B.P.]** to [ステレオ/I] or [モノラル/II] whichever yields less noise.

Auto stop
During playback or recording, when the tape reaches its end, the automatic stop system will release [▶, 再生] or [●, 録音] and automatically turn off the unit.

To stop playback/recording
Press [■, 停止].

To stop playback/recording temporarily
Set [一時停止] to On position.

To fast forward or rewind
Press [◀◀, 巻戻し／レビュー] (rewind) or [▶▶, 早送り／キュー] (fast forward) in the stop mode.

To cue and review
Sound can be monitored at a high speed as long as [◀◀, 巻戻し／レビュー] (review) or [▶▶, 早送り／キュー] (cue) is held down during playback. When the button is released, normal playback will start.

Follow up recording
Recording can be started during playback by simply pressing [●, 録音].

Quick review
The review operation is possible during recording by pressing [◀◀, 巻戻し／レビュー], only the [●, 録音] will be released, and playback begin.

To record through an external microphone
Plug the external microphone (included) into [ステレオマイク（プラグインパワー）].
●You can use a condenser microphone with or without built-in power supply.

安全上のご注意

（必ずお守りください）

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

	この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。（下記は、絵表示の一例です。）

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

乾電池について

⚠注意

■電池は正しく取り扱う

- **⊕と⊖は正しく入れる**
- **長期間使用しないときは、取り出しておく**

■電池は誤った使い方をしない

- **乾電池は充電しない**
- **加熱、分解したり、水、火の中へ入れたりしない**
- **ネックレスなどの金属物といっしょにしない**
- **被覆のはがれた電池は使わない**

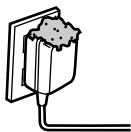
- 取り扱いを誤ると、電池の液もれにより、火災や周囲汚損の原因になります。
- 万一液もれが起こったら、販売店にご相談ください。
- 液が身体についたときは、水でよく洗い流してください。

ACアダプター（別売り）について

⚠警告

■ACアダプターは専用品（RP-AC31B）を、交流（AC）100Vで使う

- 指定外の電圧や電源で使用すると、火災や感電の原因になります。
- プラグは根元まで確実に差し込んでください。

■プラグのほこり等は定期的にとる

- プラグにほこり等がたまると、湿気等で絶縁不良となり火災の原因になります。ACアダプターを抜き、乾いた布でふいてください。
- 長期間使用しないときは、ACアダプターを抜いてください。

本機について

⚠警告

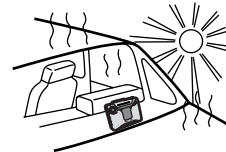
■分解・改造しない

分解禁止

- 機器が故障したり、金属物が入ると、やけどや火災の原因になります。
- 点検や修理は、販売店へご依頼ください。

■自動車やバイク、自転車などの運転中は、インサイドホンで使用しない

- 周囲の音が聞こえにくく、交通事故の原因になります。
- 歩行中（特に、踏切や横断歩道）でも周囲の交通に十分注意してください。

■異常に温度が高くなるところに置かない

- 機器表面や部品が劣化するほか、火災の原因になることがあります。
- 夏の閉め切った自動車内や、直射日光の当たるところ、ストーブの近くでは特にご注意ください。

■音量を上げすぎない

- 耳を刺激するような大きな音量で長時間続けて聞くと、聴力に悪い影響を与えることがあります。

■ステレオインサイドホンなど肌に直接触れる部分に異常を感じたら使用を中止する

- そのまま使用すると炎症やかぶれなどの原因になることがあります。

■スピーカーに磁気の影響を受けやすいものを近づけない

- スピーカーの磁気の影響で、キャッシュカードや定期券、時計などが正しく働かなくなることがあります。

使用上のお願い

- 強い衝撃を与えたり、落下させたりしないでください。
- 水、砂、ほこりの付近ではカセットふたを開けないでください。
- 風呂場など湿気の多い所、倉庫などほこりの多い所で使わないでください。
- 雨にぬらさないでください。
- 本機のスピーカーは防磁設計ではありません。テレビやパソコン等の近くには置かないでください。

使用テープについて

■100分を超えるテープ

テープが薄いため、こきざみな走行、停止、早送り、巻戻しを繰り返さないでください。(回転部分に巻き込まれることがあります)

■エンドレステープについて

使用方法を誤ると、テープが回転部分に巻き込まれます。必ず、テープについている使用説明をお読みください。

保証とアフターサービス

よくお読み下さい

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…
まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

転居や贈答品などでお困りの場合は・・・

- 修理は、サービス会社・販売会社の「修理ご相談窓口」へ！
- その他のお問い合わせは、「お客様ご相談センター」へ！

■保証書（表紙の下をご覧ください）

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体１年間

■補修用性能部品の保有期間

当社はステレオラジオカセットレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後６年保有しています。

注）補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるとき

10ページの「故障かな!?」の表に従ってご確認のあと、直らないときは、お買い上げの販売店へご連絡ください。

- **保証期間中は**
  保証書の規定に従って、お買い上げの販売店が修理させていただきますので、恐れ入りますが、製品に保証書を添えてご持参ください。
- **保証期間を過ぎているときは**
  修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。
- **修理料金の仕組み**
  修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。
  技術料は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。
  部品代は、修理に使用した部品および補助材料代です。
  出張料は、製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容			
品名	ステレオラジオカセットレコーダー	お買い上げ日	年　月　日
品番	RQ-A320	故障の状況	できるだけ具体的に

使いかた・お買い物などのご相談

ナショナル／パナソニック　**お客様ご相談センター**

365日／受付9時～20時

電話 フリーダイヤル **0120-878-365**（パナは 365日）

■携帯電話・PHSでのご利用は… **06-6907-1187**

FAX フリーダイヤル **0120-878-236**

Help desk for foreign residents in Japan
〈外国人／海外仕様商品（ツーリスト商品他）等ご相談窓口〉
Tokyo (03) 3256 - 5444　**Osaka** (06) 6645 - 8787
Open : 9:00 - 17:30 (closed on Saturdays / Sundays / national holidays)

修理に関するご相談

ナショナル／パナソニック　**修理ご相談窓口**

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570-087-087**

- お客様がおかけになった場所から最寄りの修理ご相談窓口につながります。呼出音の前にNTTより通話料金の目安をお知らせします。
- 携帯電話・PHS等からは最寄りの修理ご相談窓口に直接おかけください。

ナショナル／パナソニック　修理ご相談窓口

北海道地区

地域	所在地	電話
札幌	札幌市厚別区厚別南2丁目17-7	☎(011)894-1251
旭川	旭川市2条通21丁目左1号	☎(0166)31-6151
帯広	帯広市西19条南1丁目7-11	☎(0155)33-8477
函館	函館市西桔梗589番地241（函館流通卸センター内）	☎(0138)48-6631

東北地区

地域	所在地	電話
青森	青森市第二問屋町3-7-10	☎(017)739-9712
秋田	秋田市御所野湯本2丁目1-2	☎(018)826-1600
岩手	盛岡市羽場13地割30-3	☎(019)639-5120
宮城	仙台市宮城野区扇町7-4-18	☎(022)387-1117
山形	山形市流通センター3丁目12-2	☎(023)641-8100
福島	福島県安達郡本宮町字南/内65	☎(0243)34-1301

首都圏地区

地域	所在地	電話
栃木	宇都宮市御幸町194-20	☎(028)689-2555
群馬	高崎市大沢町229-1	☎(027)352-1109
水戸	水戸市柳河町309-2	☎(029)225-0249
つくば	つくば市花畑2丁目8-1	☎(0298)64-8756
埼玉	桶川市赤堀2丁目4-2	☎(048)728-8960
千葉	千葉市中央区星久喜町172	☎(043)208-6011
東京	東京都世田谷区宮坂2丁目26-17	☎(03)5477-9780
山梨	甲府市宝1丁目4-13	☎(055)222-5171
神奈川	横浜市港南区日野5丁目3-16	☎(045)847-9720
新潟	新潟市東明1丁目8-14	☎(025)286-0171

中部地区

地域	所在地	電話
石川	石川県石川郡野々市町稲荷3丁目80	☎(076)294-2683
富山	富山市寺島1298	☎(076)432-8705
福井	福井市開発4丁目112	☎(0776)54-5606
長野	松本市大字笹賀7600-7	☎(0263)86-9209
静岡	静岡市西島765	☎(054)287-9000
名古屋	名古屋市瑞穂区塩入町8-10	☎(052)819-0225
岡崎	岡崎市岡町南久保28	☎(0564)55-5719
岐阜	岐阜県本巣郡北方町高屋太子2丁目30	☎(058)323-6010
高山	高山市花岡町3丁目82	☎(0577)33-0613
三重	久居市森町字北谷1920-3	☎(059)255-1380

近畿地区

地域	所在地	電話
滋賀	守山市勝部6丁目2-1	☎(077)582-5021
京都	京都市伏見区竹田中川原町71-4	☎(075)672-9636
大阪	大阪市北区本庄西1丁目1-7	☎(06)6359-6225
奈良	大和郡山市椎木町404-2	☎(0743)59-2770
和歌山	和歌山市中島499-1	☎(073)475-2984
兵庫	神戸市中央区琴/緒町3丁目2-6	☎(078)272-6645

中国地区

地域	所在地	電話
鳥取	鳥取市安長295-1	☎(0857)26-9695
米子	米子市米原4丁目2-33	☎(0859)34-2129
松江	松江市平成町182番地14	☎(0852)23-1128
出雲	出雲市渡橋町416	☎(0853)21-3133
浜田	浜田市下府町327-93	☎(0855)22-6629
岡山	岡山県都窪郡早島町矢尾807	☎(086)292-1162
広島	広島市西区南観音8丁目13-20	☎(082)295-5011
山口	山口市鋳銭司字鋳銭司団地北447-23	☎(083)986-4050

四国地区

地域	所在地	電話
香川	高松市勅使町152-2	☎(087)868-9477
徳島	徳島県板野郡北島町鯛浜字かや108	☎(088)698-1125
高知	南国市岡豊町中島331-1	☎(088)866-3142
愛媛	松山市土居田町750-2	☎(089)971-2144

九州地区

地域	所在地	電話
福岡	春日市春日公園3丁目48	☎(092)593-9036
佐賀	佐賀市鍋島町大字八戸字上深町3044	☎(0952)26-9151
長崎	長崎市東町1949-1	☎(095)830-1658
大分	大分市萩原4丁目8-35	☎(097)556-3815
宮崎	宮崎市本郷北方字草葉2099-2	☎(0985)63-1213
熊本	熊本市健軍本町12-3	☎(096)367-6067
天草	本渡市港町18-11	☎(0969)22-3125
鹿児島	鹿児島市与次郎1丁目5-33	☎(099)250-5657
大島	名瀬市長浜町10-1	☎(0997)53-5101

沖縄地区

地域	所在地	電話
沖縄	浦添市城間4丁目23-11	☎(098)877-1207

所在地、電話番号が変更になることがありますので、あらかじめご了承ください。

0103